（様式５）

令和６年度　日本大学自主創造プロジェクト

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

２０２４－０１４

学生主催の化学剤テロ対処訓練展示『三茶 CBRNE レスキュー２０２４』

プロジェクトの概要

「世田谷区のマラソン大会会場において化学剤テロが発生した」という状況を想定したテロ対処実働訓練を危機管理学部とスポーツ科学部の学生有志によって企画・調整し、令和６年度の三軒茶屋キャンパス学校祭において公開する。訓練では、テロ発生直後の救出・救命から現場の安全確保に至る一連の流れやそれに伴う各機関の調整の様子を一般向けに説明を添えて公開することで、学内外の見学者に学びの場を提供する。

プロジェクトの結果・成果

2024 年 10 月 19 日に開催された「三茶祭」にて訓練展示を実施することをメインに据え、事前準備から取り掛かった。5 月から 6 月にかけては、訓練素案の作成のために部内調整を行ったうえで、各機関に参加打診の連絡や対面での説明機会を設けた。7 月から 8 月にかけては訓練構想の具体化に注力し、外部有識者からの意見聴取を複数回実施、参加機関との個別調整を同時に進めた。9 月には物品の購入や三茶祭実行委員とのロジ面の打ち合わせを行い、翌月 9 日には全参加機関（5 機関）を一堂に会した事前調整会議をセッティングした。

訓練当日の想定は以下の通りである。

「世田谷区で開催の国際マラソン大会中、陸上競技場のゴール地点付近に不審なドローンが侵入、液体を散布し、多数の負傷者（嘔吐・意識混濁を含む）が発生した。119 番通報を受けた東京消防庁は、ただちに世田谷消防署及び第三消防方面本部消防救助機動部隊に出場を指令したほか、警視庁は機動隊のＮＢＣテロ対応専門部隊を現場へ派遣した。また、多数傷病者事案として東京消防庁より出動要請を受けた東京ＤＭＡＴが現地に派遣されたほか、東京都知事から陸上自衛隊第１師団長に対して災害派遣要請がなされ、第１師団は第１特殊武器防護隊に対して地域除染の活動を命じた。現場対応期間中、世田谷区は現地調整所を設置し、情報収集・伝達・調整にあたる。」

多少の変動は見受けられたものの概ね事前打ち合わせの流れの通りに進行し、参加機関の到着から完全撤収まで、目立った問題は発生しなかった。

訓練展示終了後は参加機関宛にアンケートを取り、事後勉強会にて当日撮影した映像と写真を基に反省点を取りまとめた。また、1 月から 3 月にかけては東京消防庁の NBC 災害対処関連の部隊や訓練見学等に参加し、質疑を通じて実働対処への見識を深めた。

活動写真







